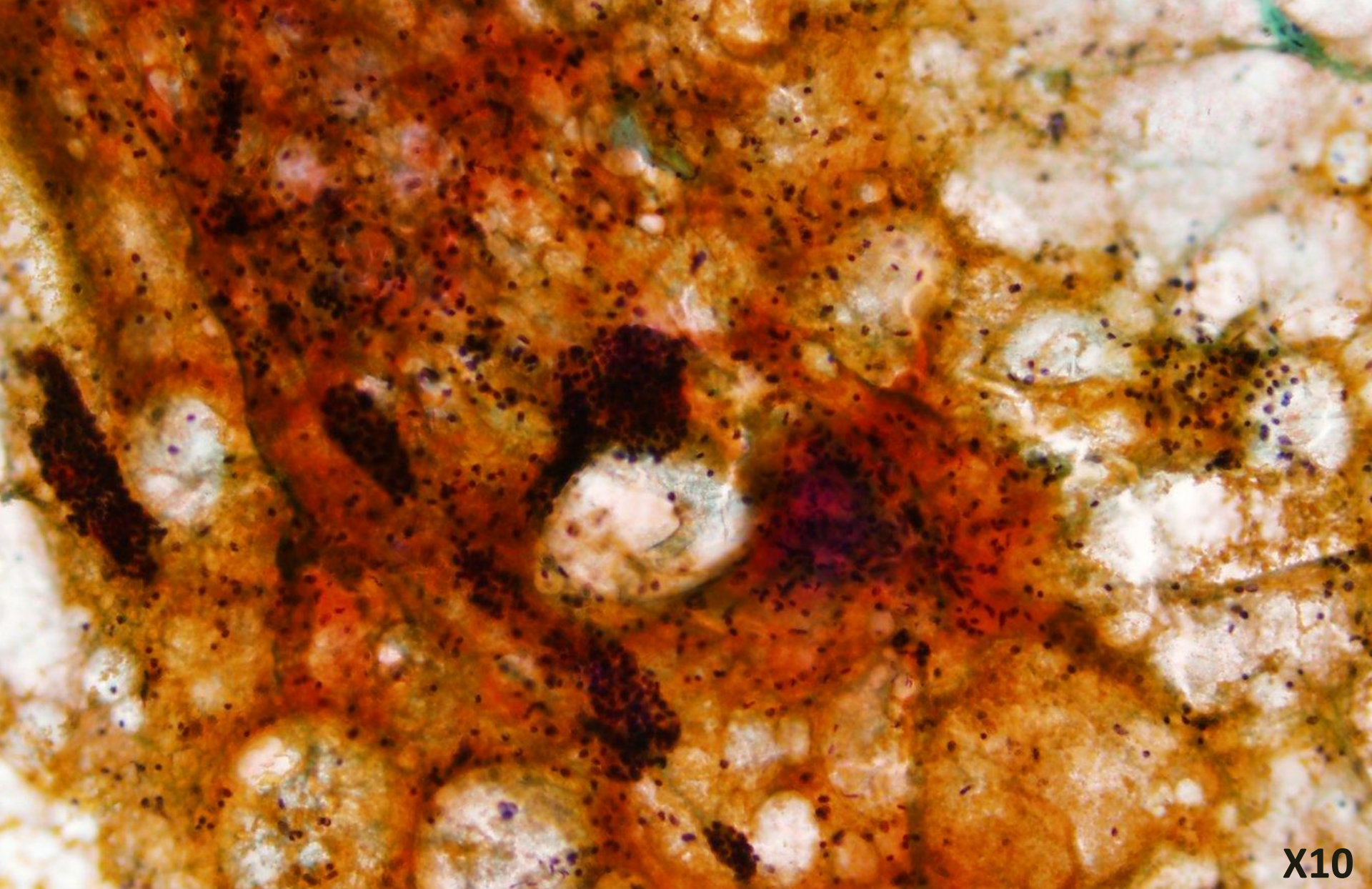


# 症例3 乳腺

## 解説

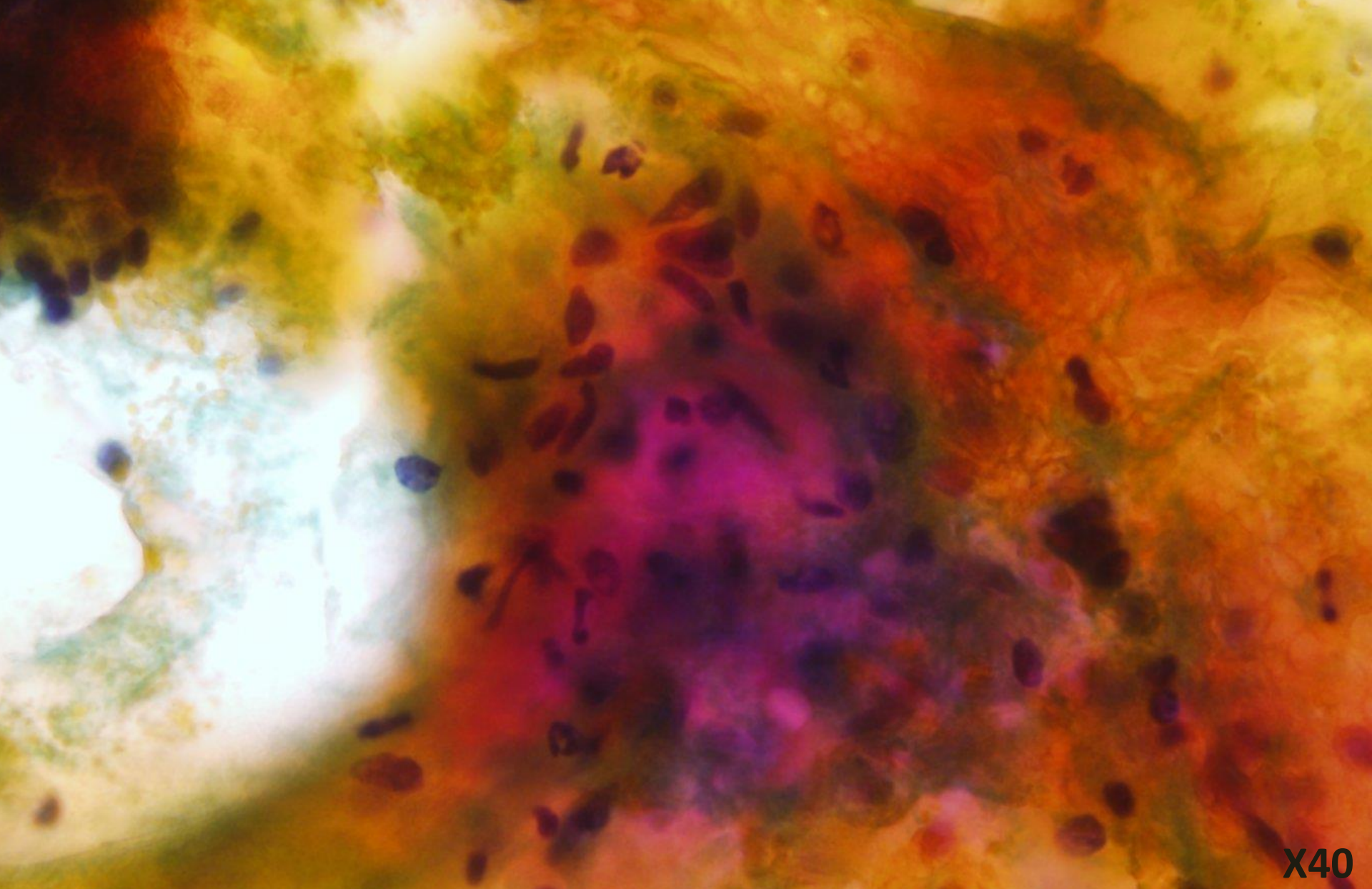
順天堂大学医学部附属練馬病院 病理診断科

飯野瑞貴



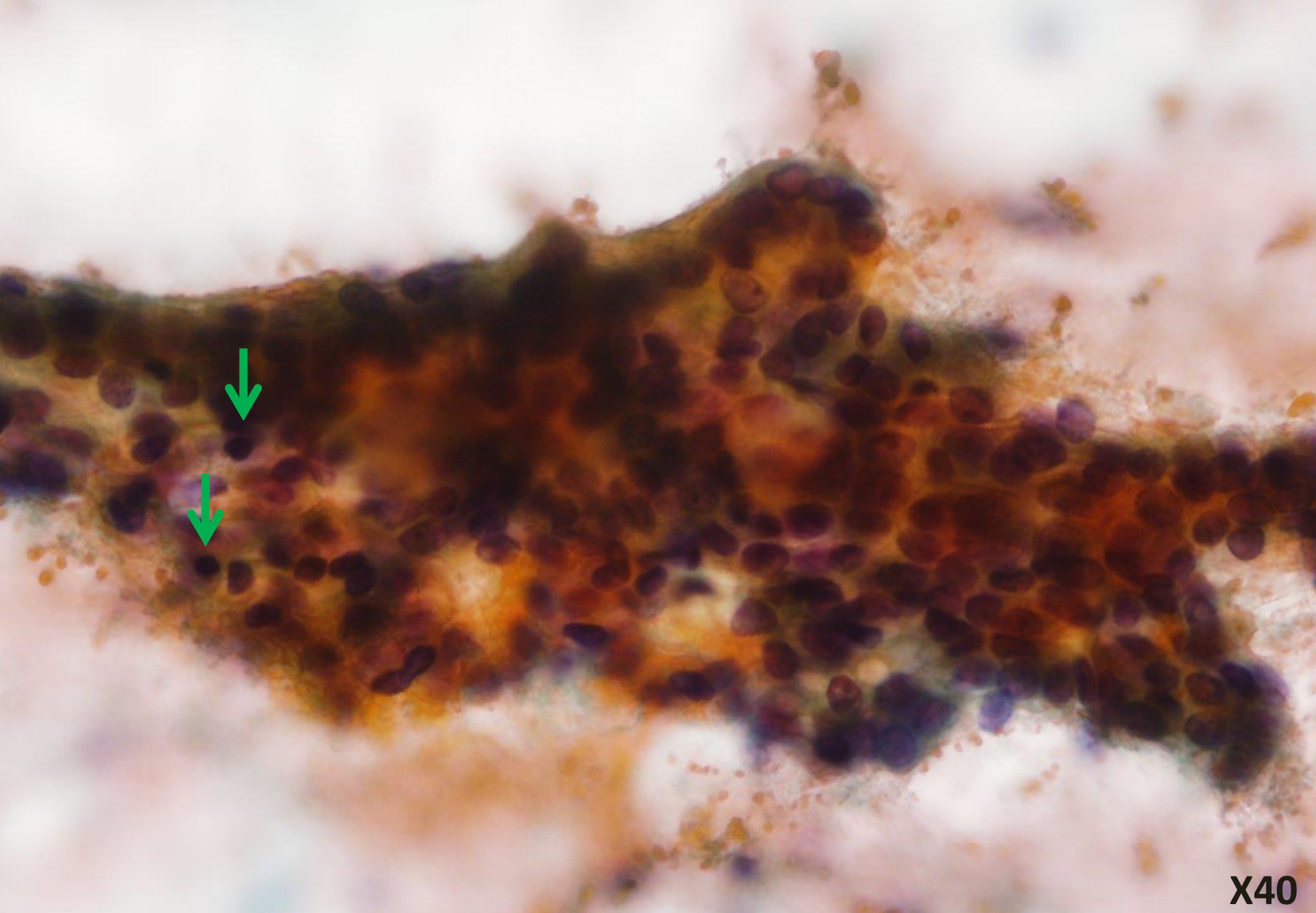
X10

出血性背景に小型の乳管上皮細胞集塊と粘液様物質を認めた。



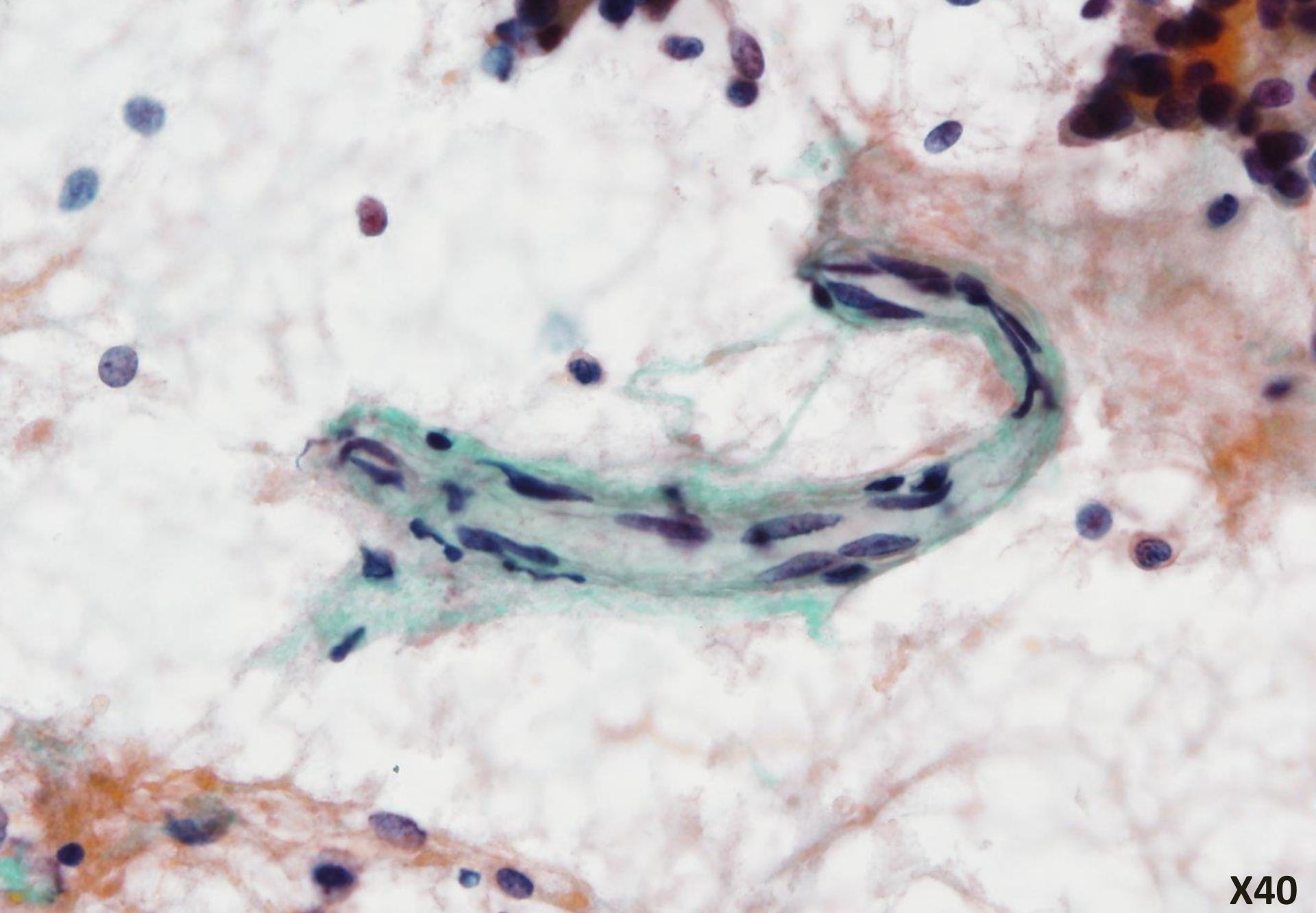
X40

粘液様物質は内部に紡錘形核を有する裸核状細胞を認め、  
間質由来と考えられた。



X40

乳管上皮細胞集塊には筋上皮細胞との二相性を認めた。



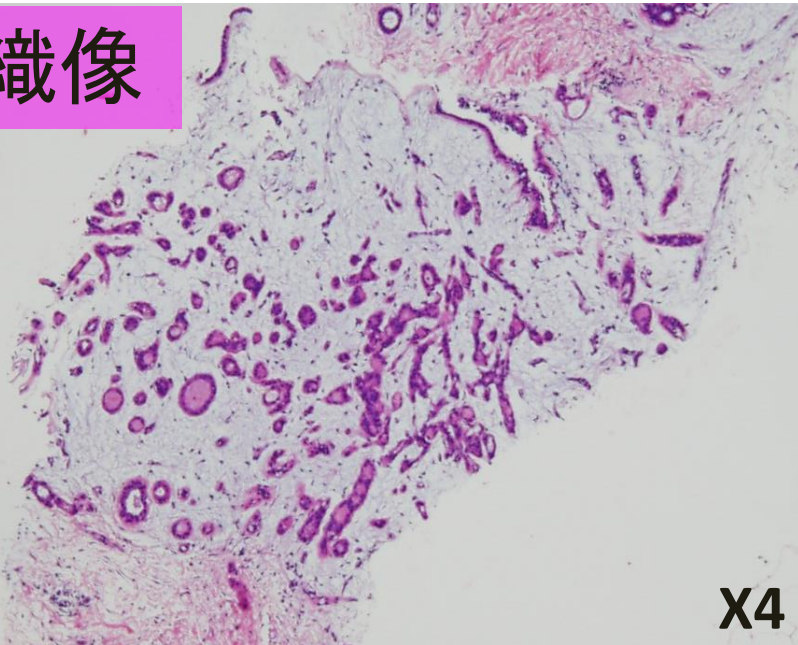
X40

背景には血管や筋上皮細胞を認めた。

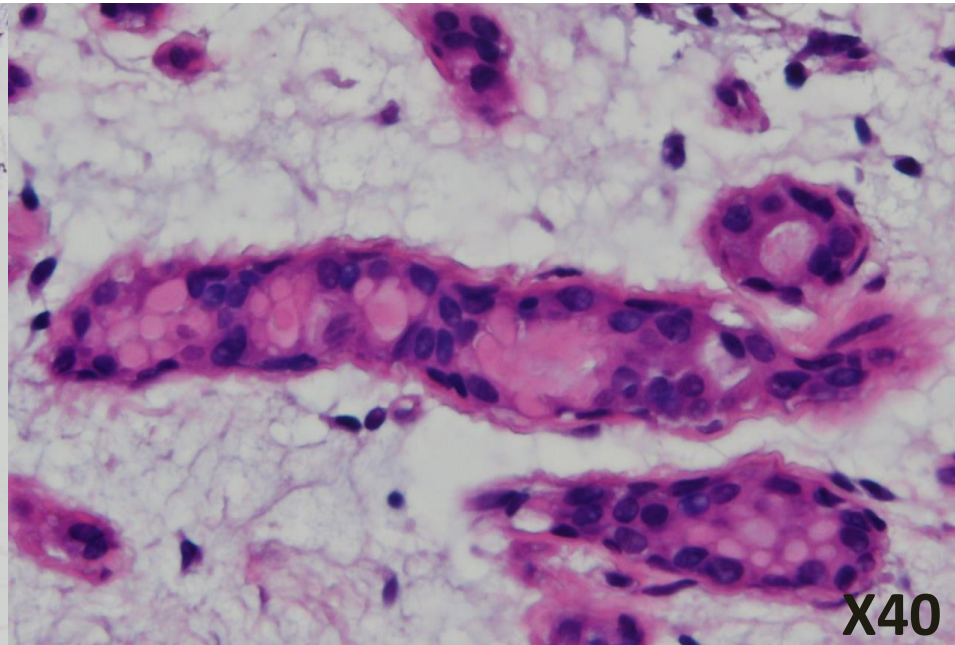
# 選擇肢

- 解答
- 1) 線維腺腫
  - 2) 葉狀腫瘍
  - 3) 粘液瘤樣腫瘤
  - 4) 粘液癌
  - 5) 基質產生癌

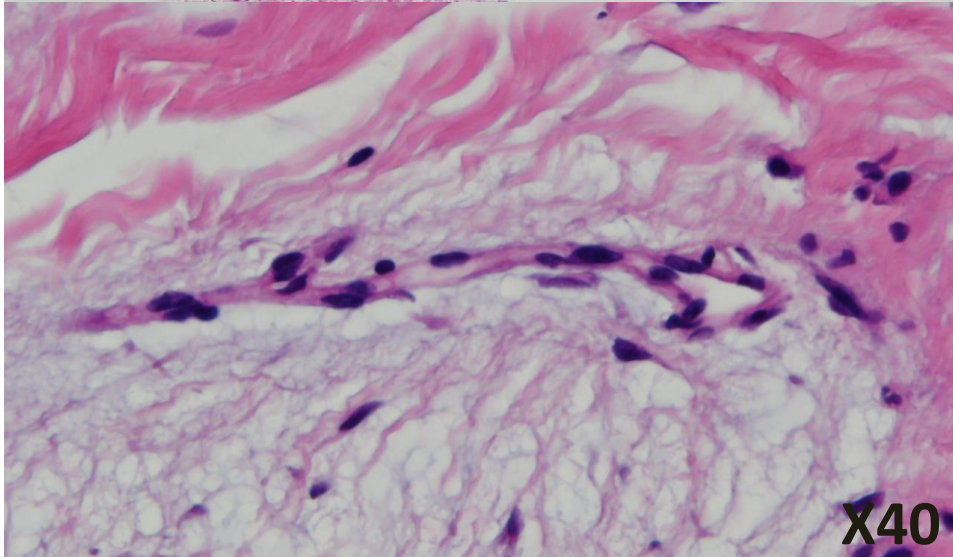
# 組織像



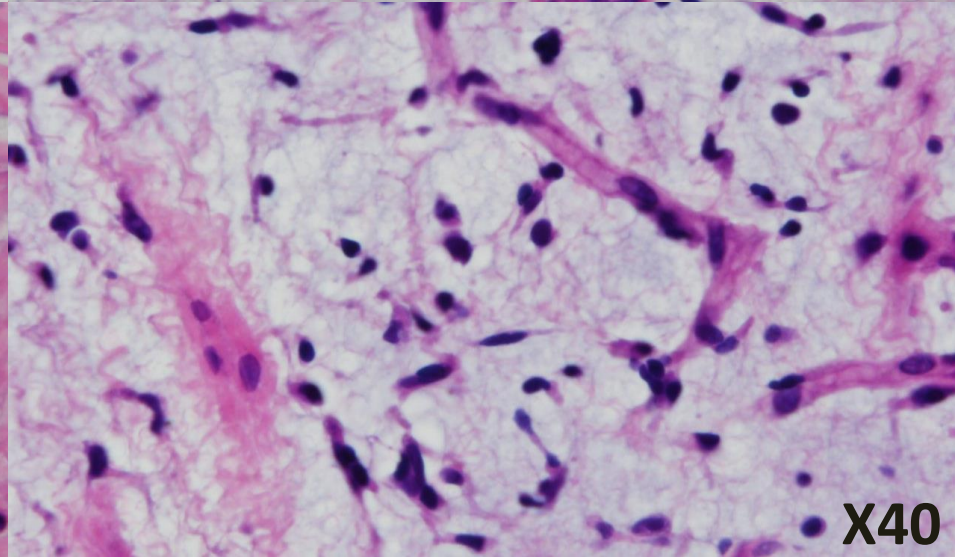
X4



X40



X40



X40

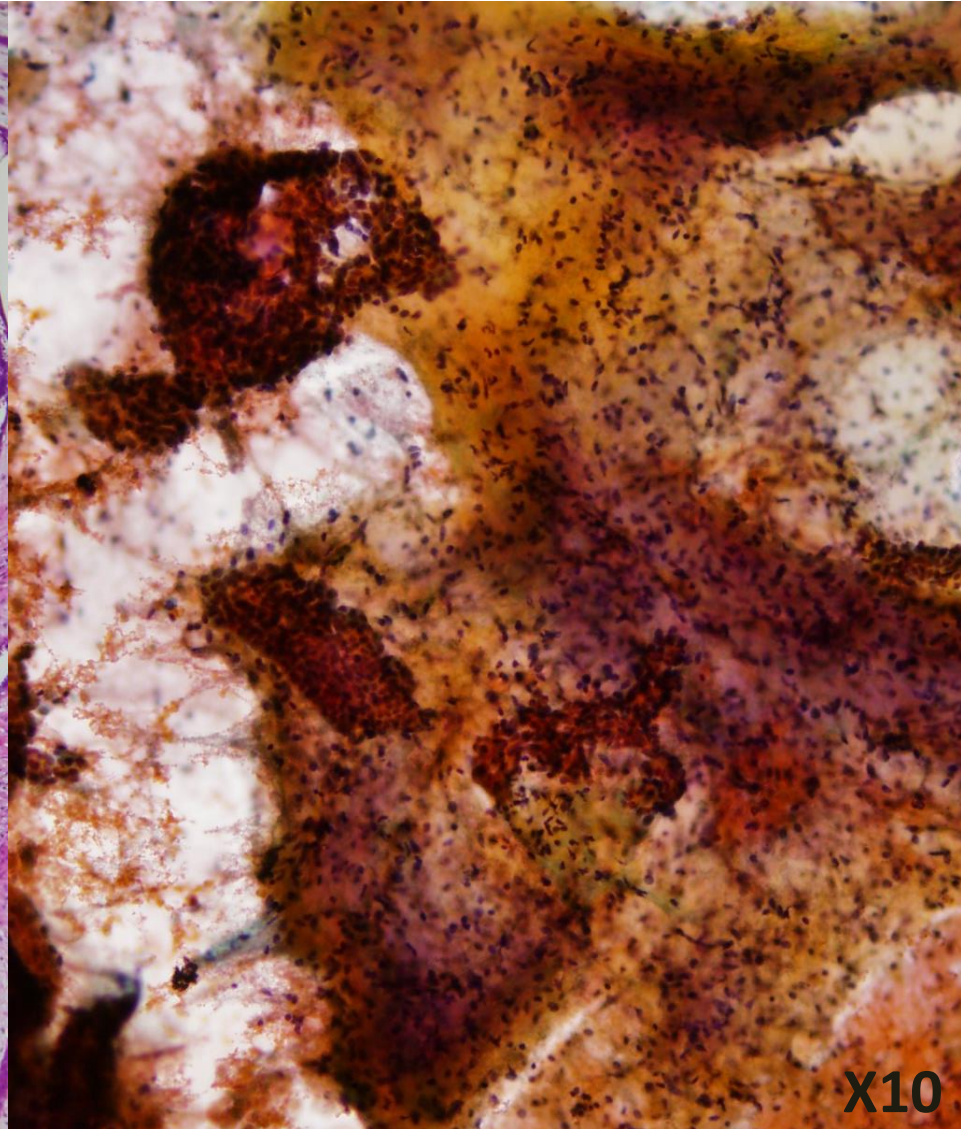
粘液腫様変化を示す間質が腺管を取り囲むように増生しており、線維腺腫と診断された。

# <鑑別点> 葉状腫瘍

## 葉状腫瘍



X4



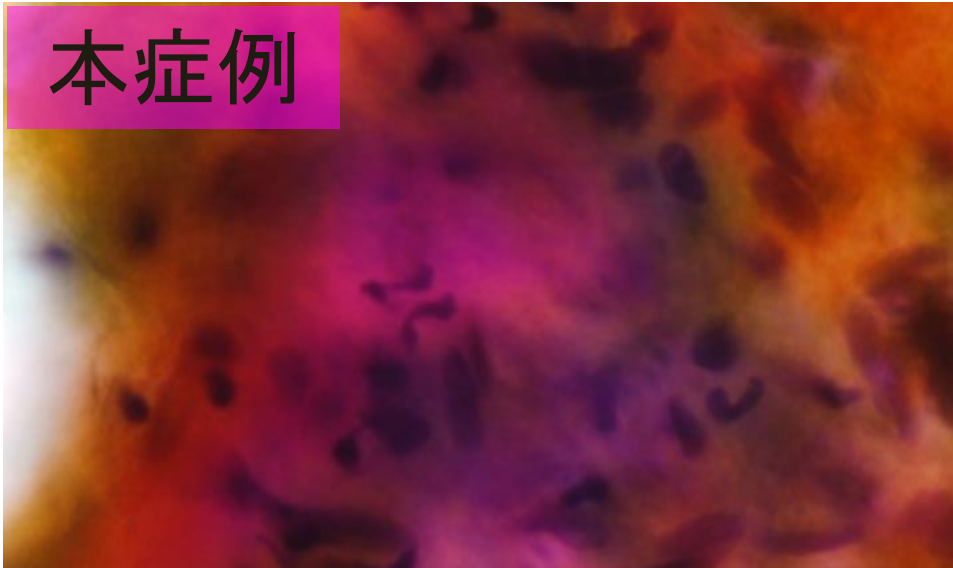
X10

間質の優勢な増生により葉状構造を呈し、しばしば粘液腫様変化を示す。

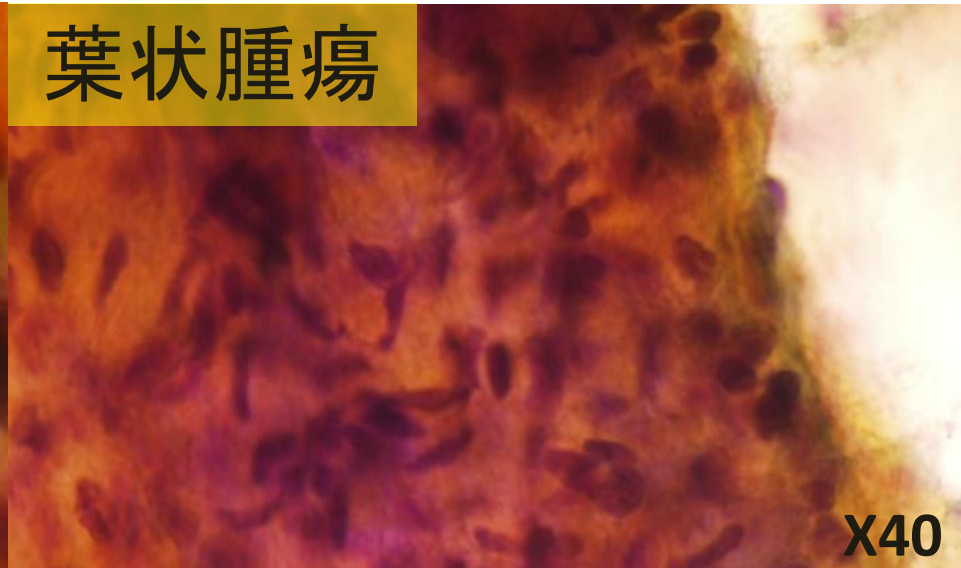


# <粘液様物質の所見>

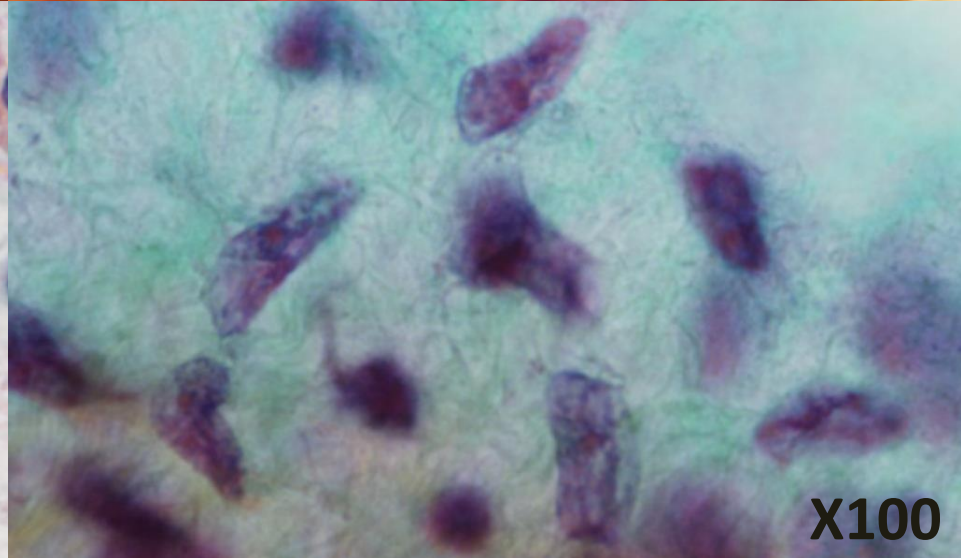
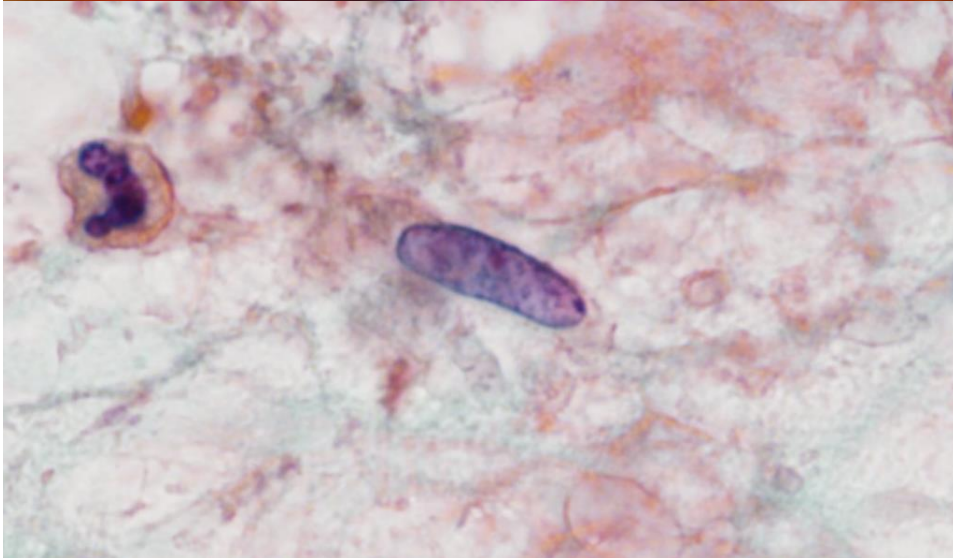
本症例



葉状腫瘍



X40



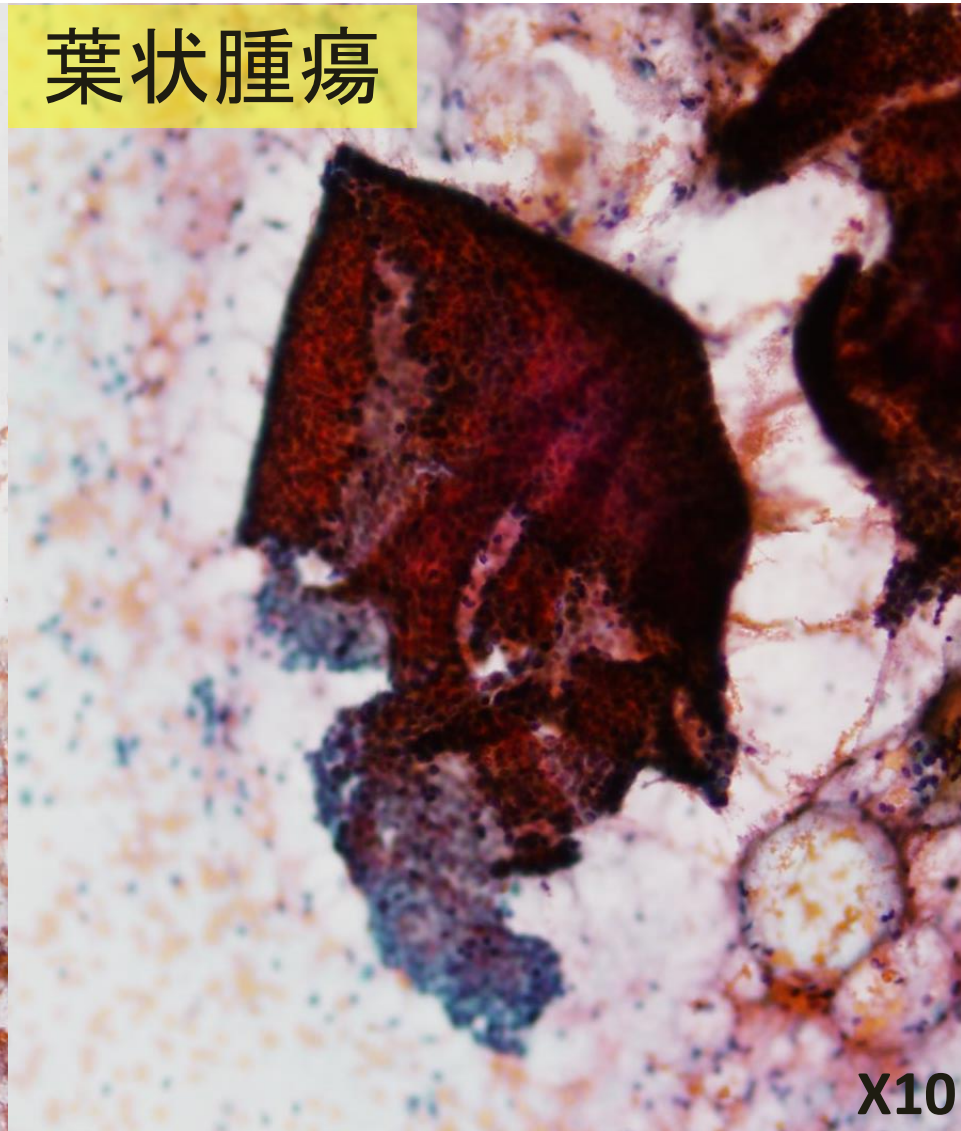
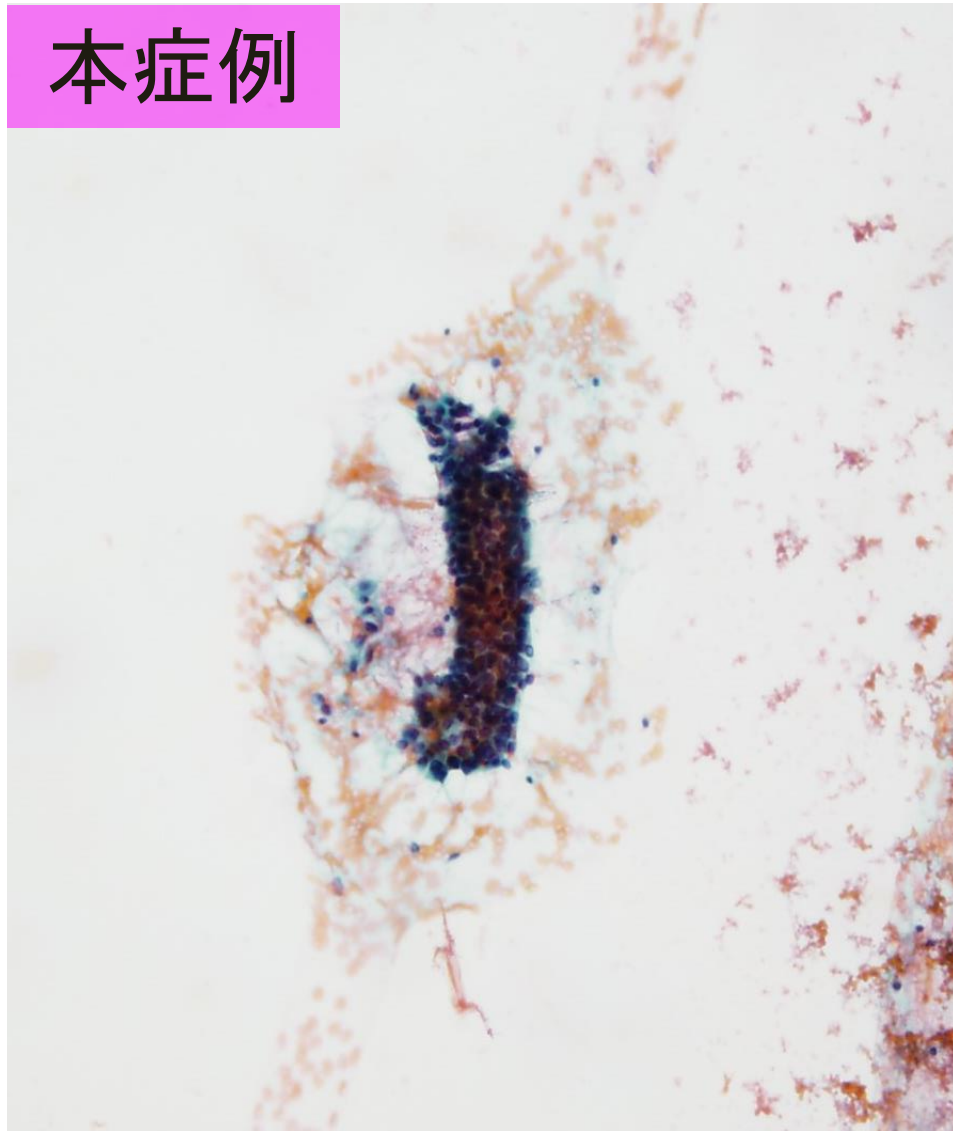
X100

葉状腫瘍では間質細胞の細胞密度が高く、核に異型を認める。

# <その他所見>

本症例

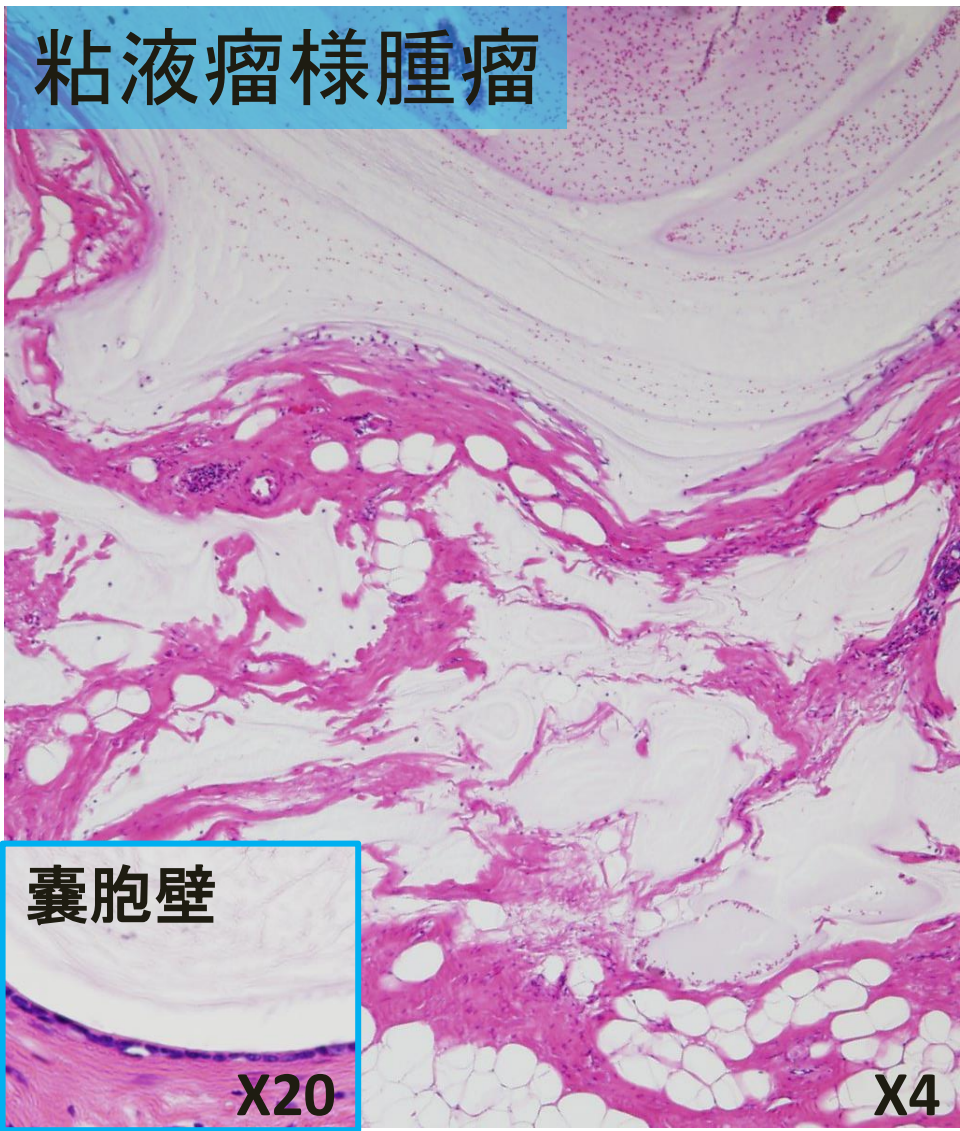
葉状腫瘍



葉状腫瘍では二つ折り状やカーテン状の形態を示す大型シート状の上皮細胞集塊が出現する。

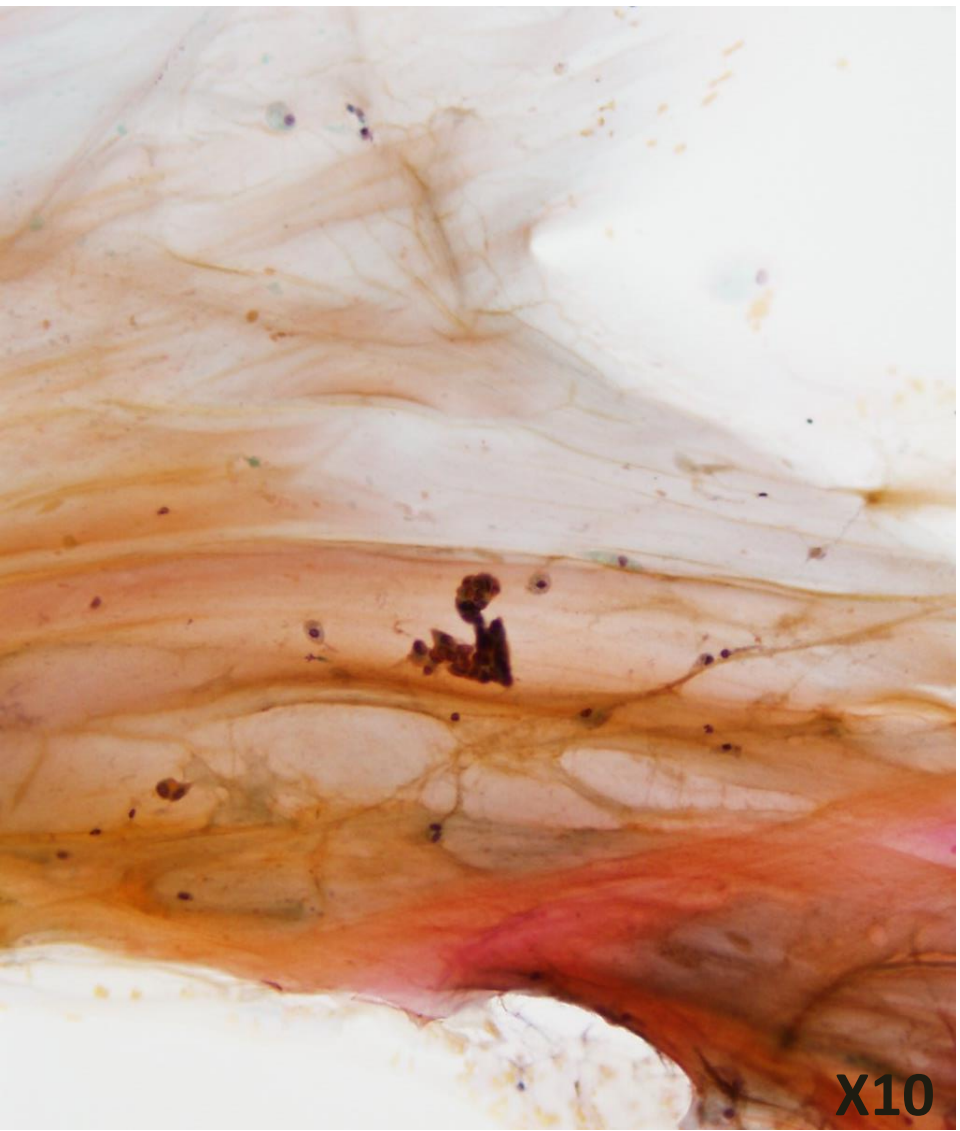
# <鑑別点> 粘液瘤様腫瘍

## 粘液瘤様腫瘍



囊胞壁  
X20

X4



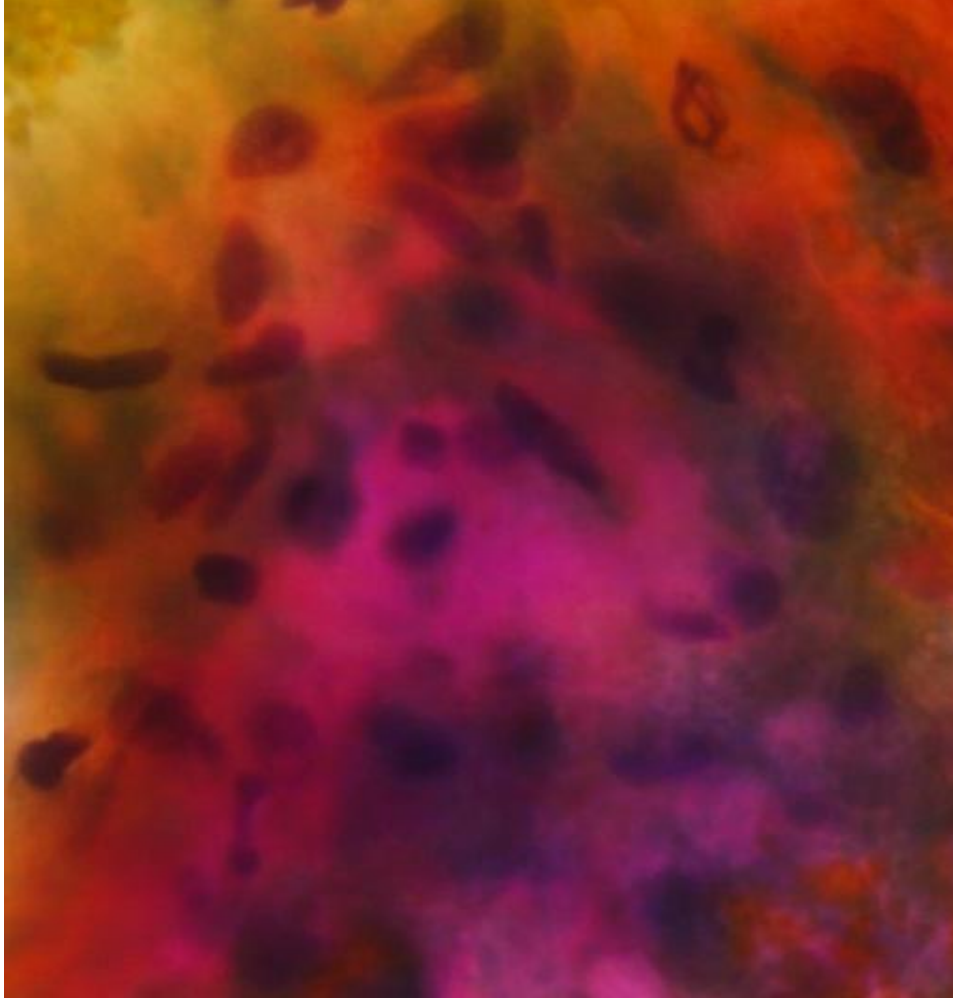
X10

上皮性粘液を貯留した囊胞が破綻し、間質に漏出した状態。  
一部の囊胞壁には裏打ちする上皮を認め、稀に遊離する。

# <粘液様物質の所見>

本症例

粘液瘤様腫瘍

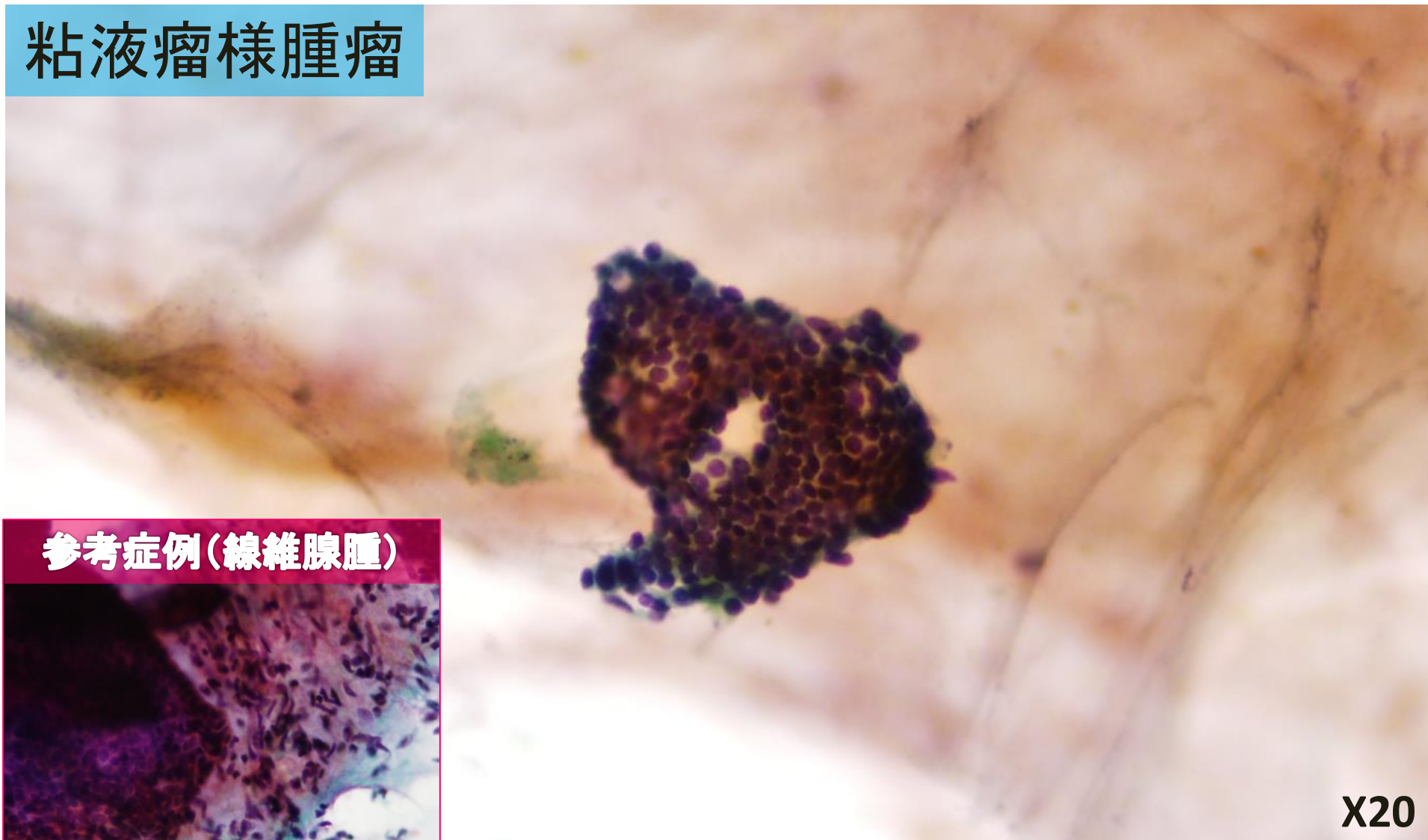


X40

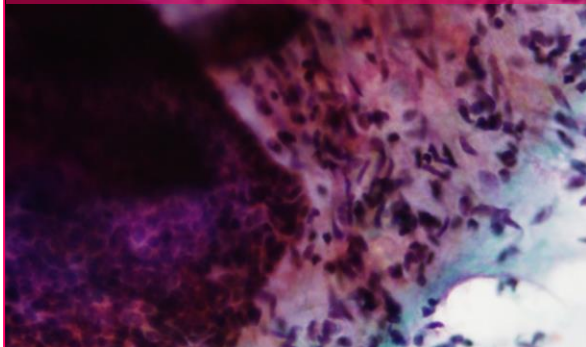
粘液瘤様腫瘍では稀薄な粘液が採取され、内部に間質細胞は認めない。

# <その他所見>

## 粘液瘤様腫瘍



### 参考症例(線維腺腫)

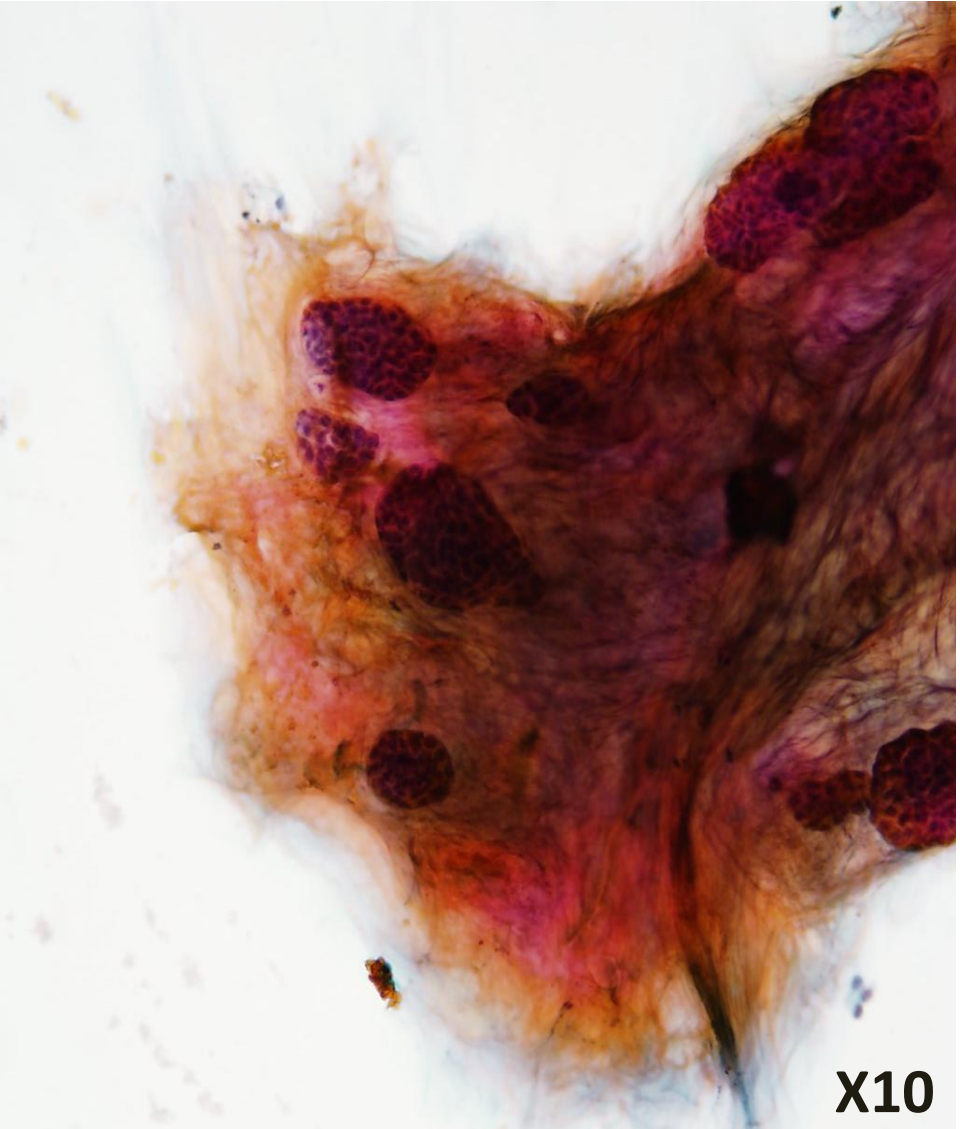
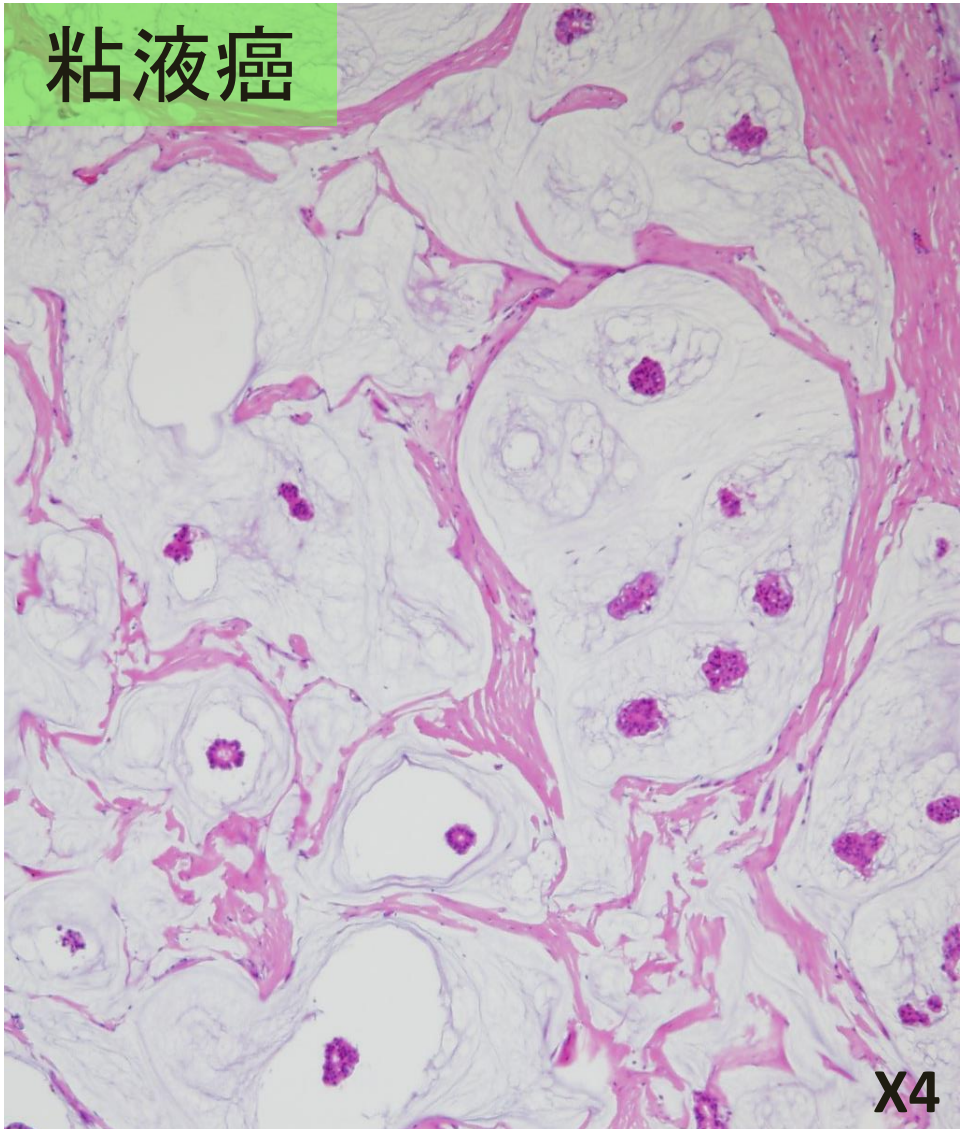


X20

粘液瘤様腫瘍では上皮細胞が稀薄な粘液の上に乗ったように出現する。

# <鑑別点> 粘液癌

粘液癌

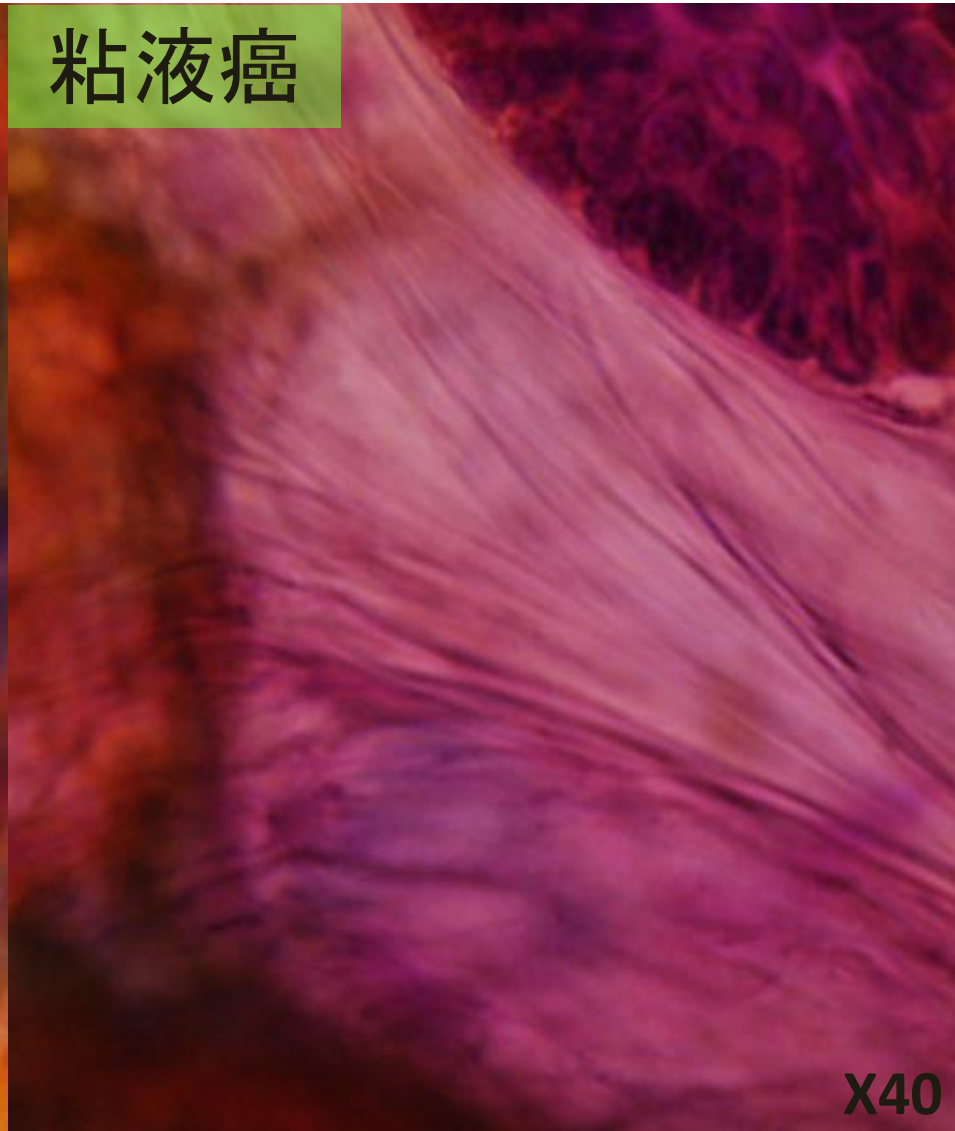
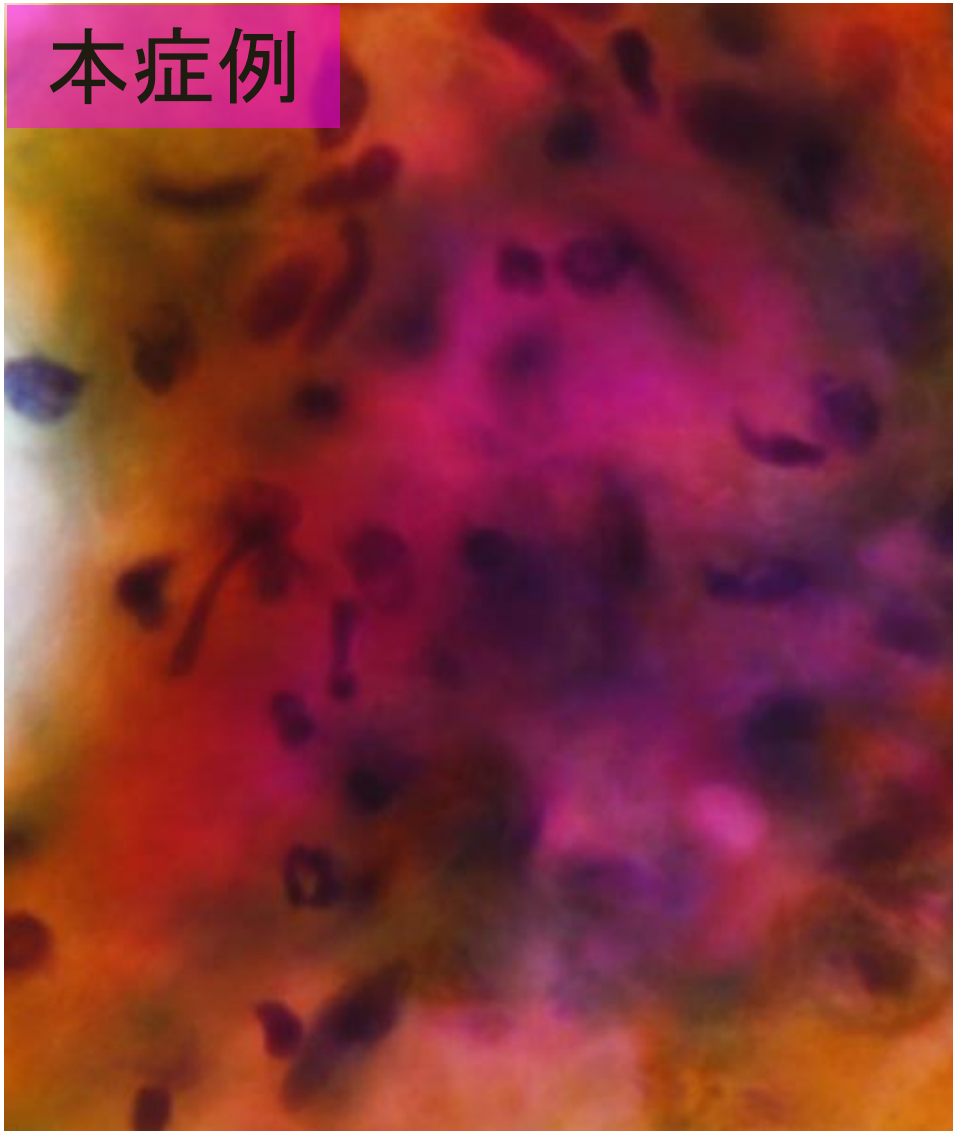


細胞外に上皮性粘液を産生し、  
腫瘍細胞集塊が粘液内に浮遊する。

# <粘液様物質の所見>

本症例

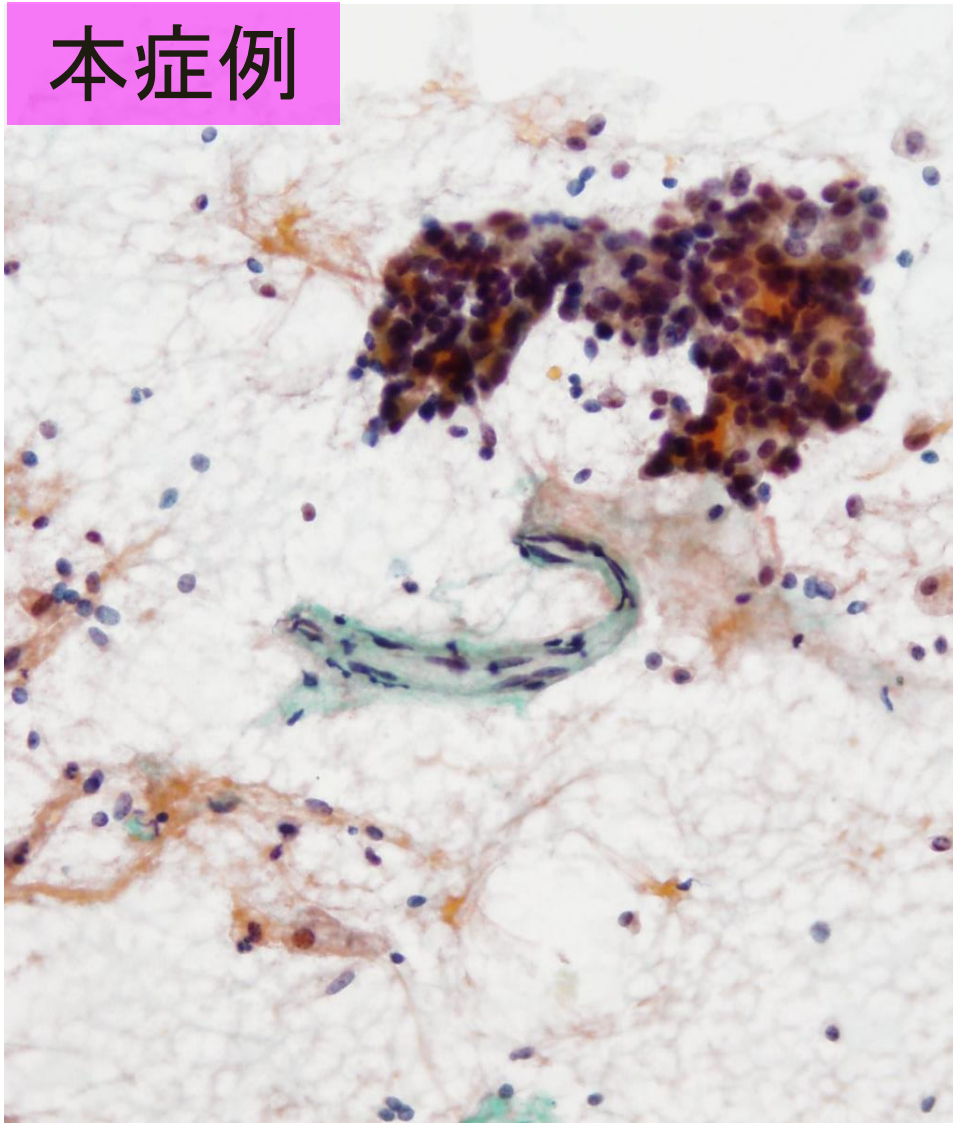
粘液癌



粘液癌では濃厚な粘液が採取され、  
内部に間質細胞を認めない。

# <その他所見>

本症例



粘液癌

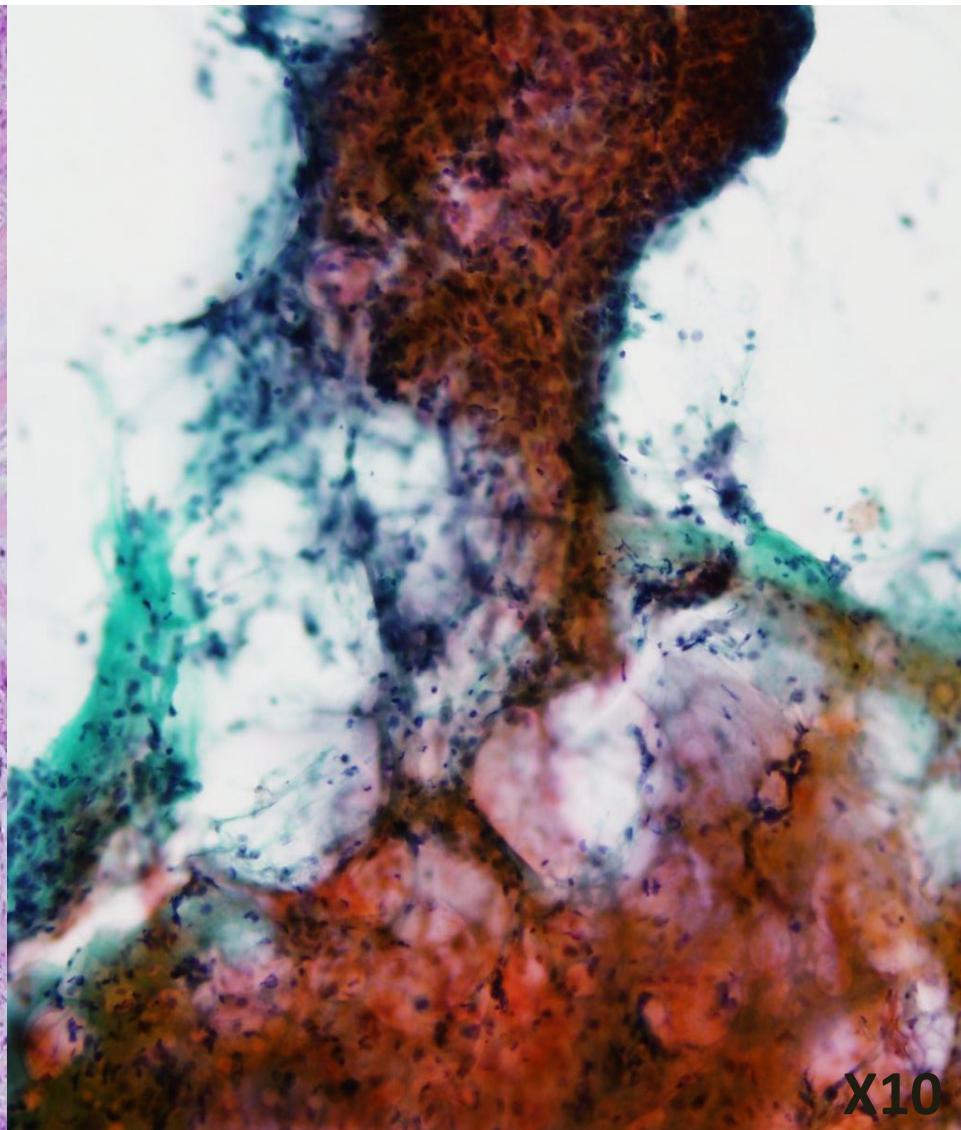
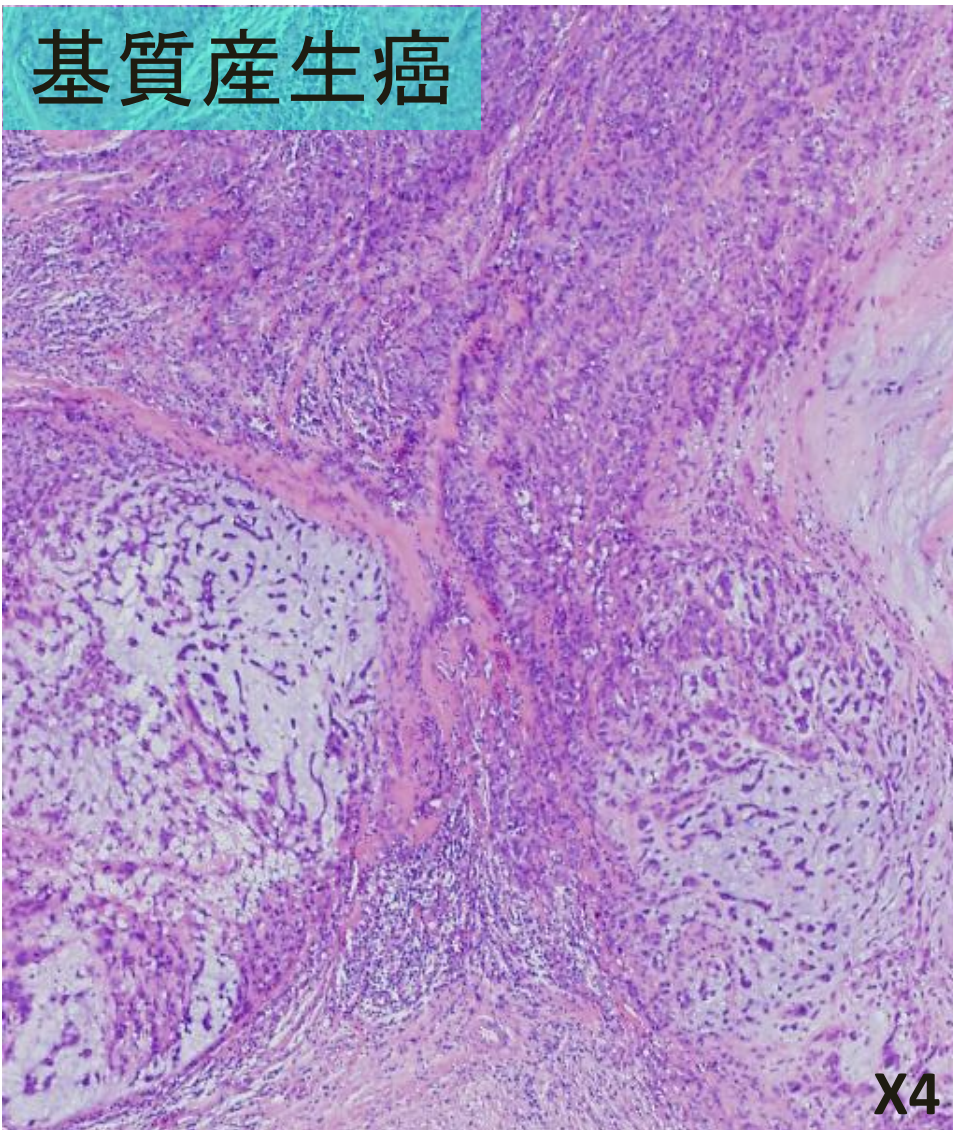


粘液癌では本症例より長くて太い血管も出現する。



# <鑑別点> 基質産生癌

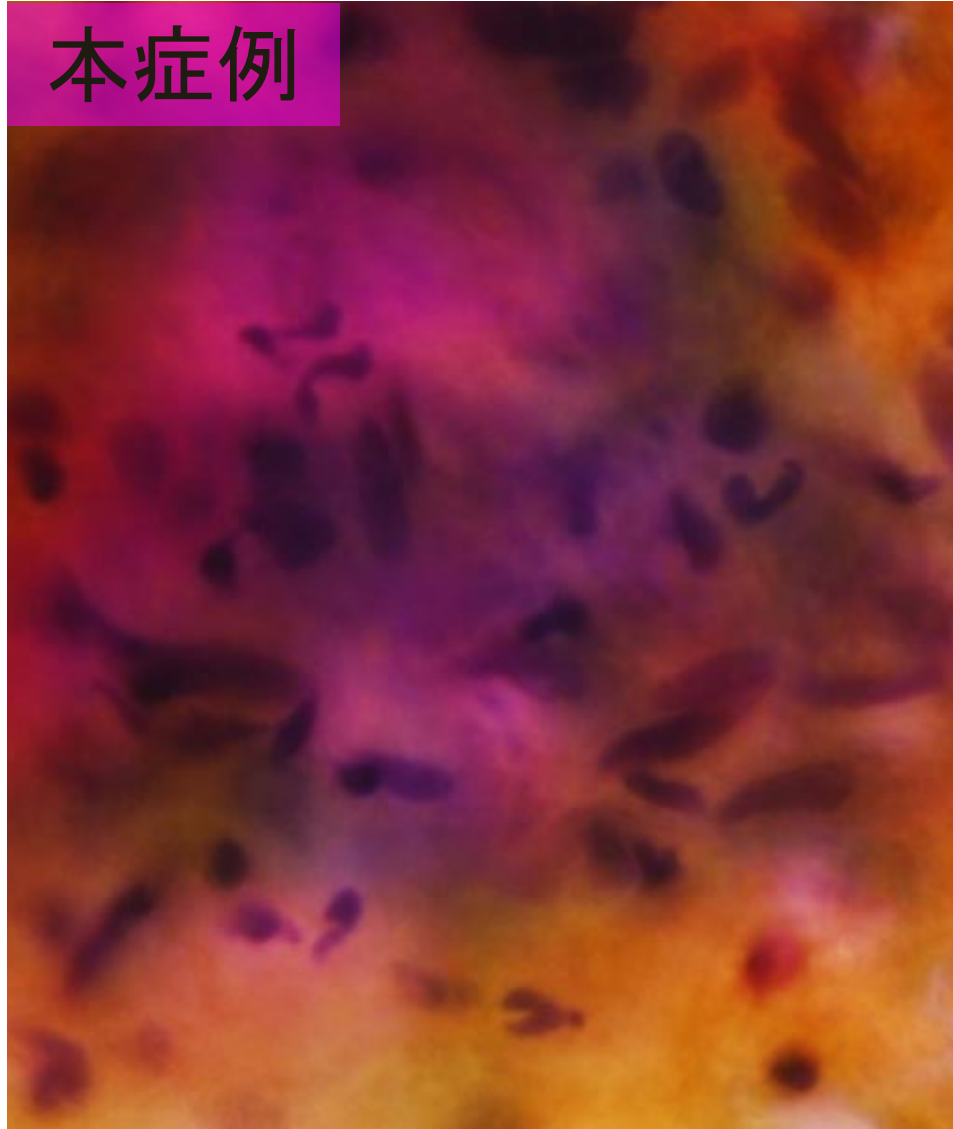
基質産生癌



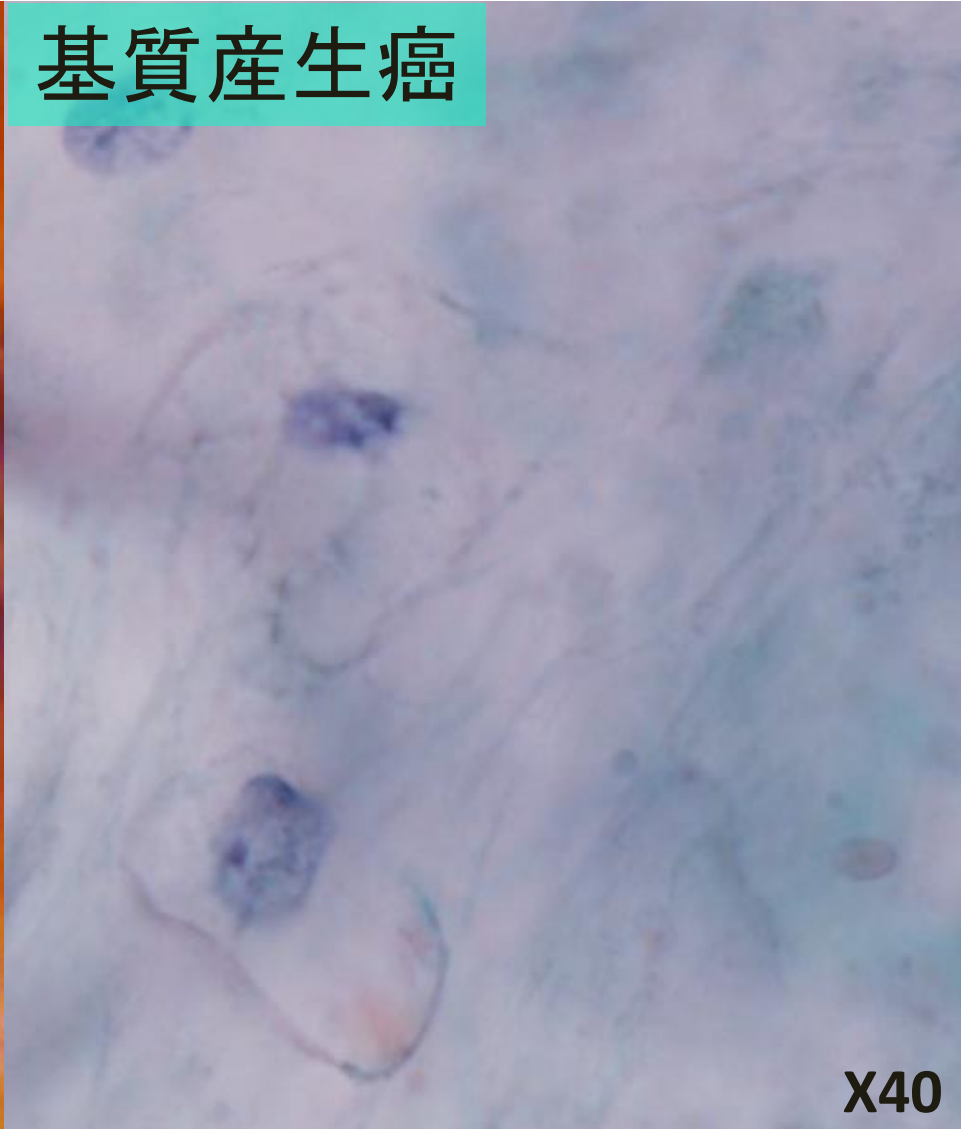
軟骨基質・骨基質の産生を特徴とし、  
腫瘍細胞と基質成分が連続するように出現する。

# <粘液様物質の所見>

本症例



基質産生癌

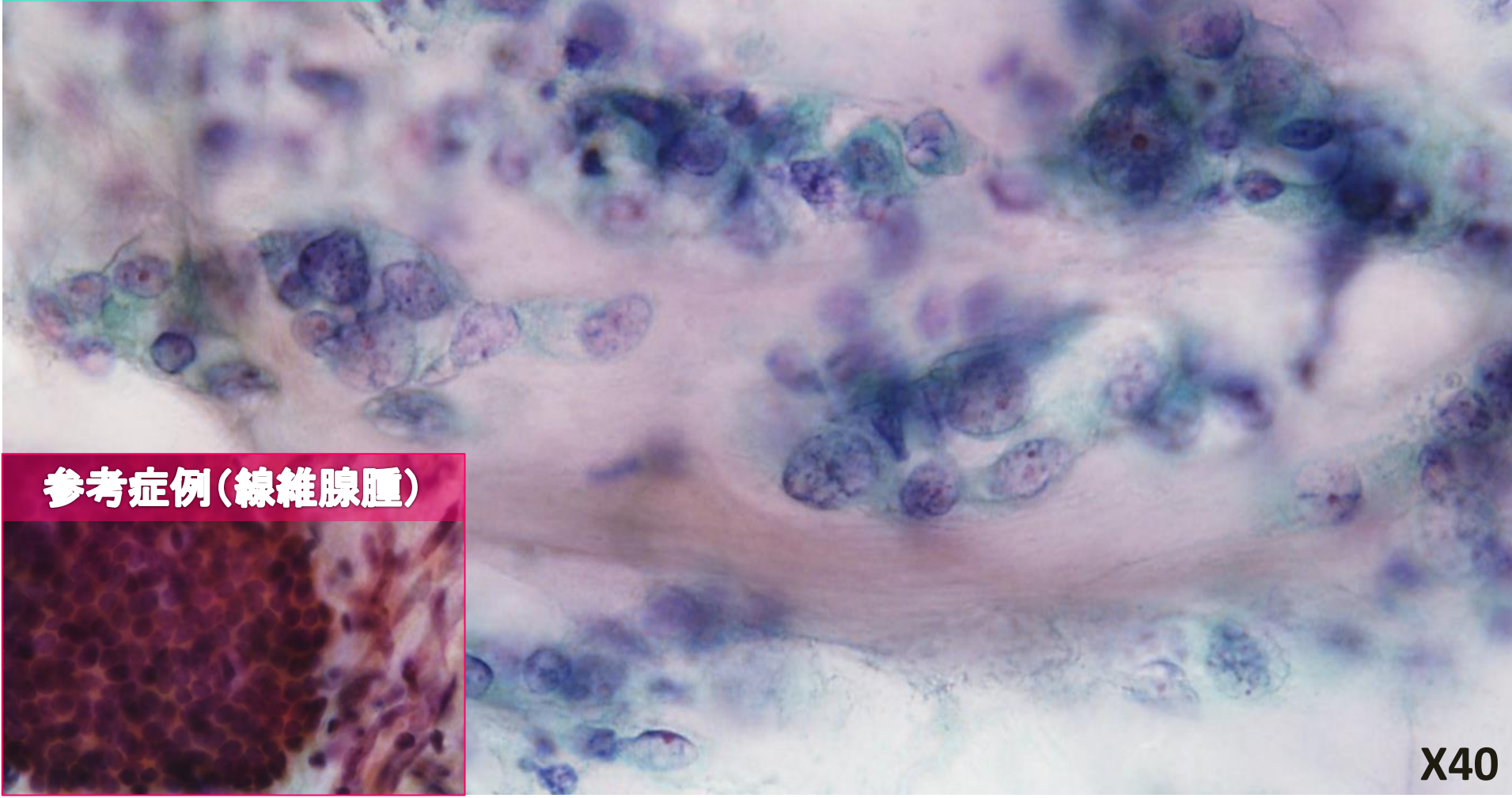


X40

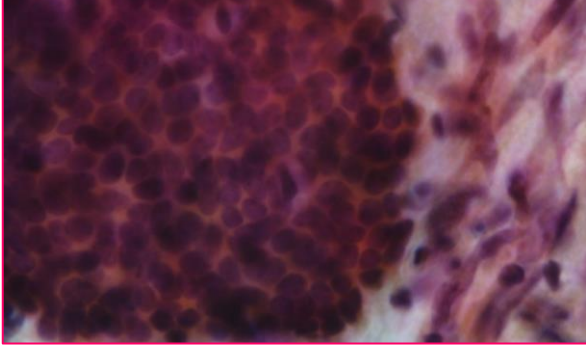
基質産生癌ではヘマトキシリンに淡染する軟骨基質様成分が採取され、内部に間質細胞を認めない。

# <その他所見>

## 基質産生癌



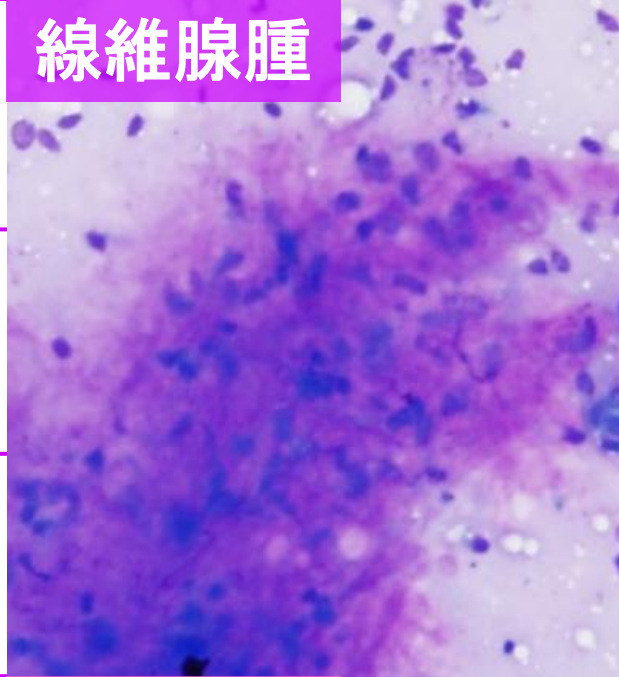
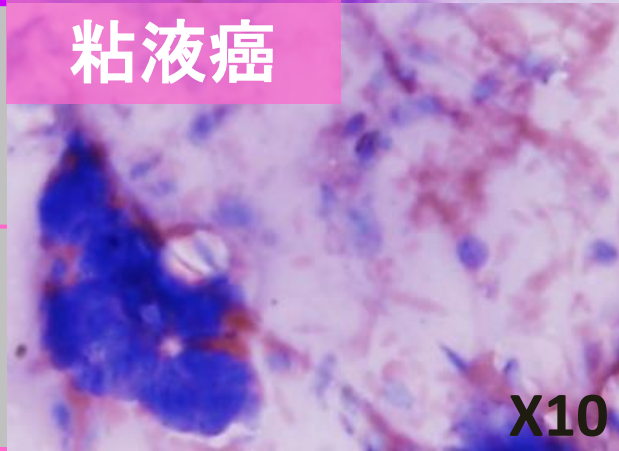
### 参考症例(線維腺腫)



X40

基質産生癌ではN/C比が高く、類円～不整形の核を有する均一な腫瘍細胞が出現する。

# <粘液様物質の性質>

由来	鑑別疾患	Gimsa染色	
間質	線維腺腫	Metachromasy	 <p data-bbox="1309 311 1651 406">線維腺腫</p>
	葉状腫瘍	Metachromasy	
	基質産生癌	Metachromasy (軟骨基質)	
上皮	粘液瘤様腫瘍		 <p data-bbox="1309 982 1651 1078">粘液癌</p>
	粘液癌		

## まとめ

- 線維腺腫には間質に粘液腫様変化を示す症例があり、粘液様物質が出現する腫瘍との鑑別が必要となる。
- 粘液様物質内に含まれる細胞成分の由来を確認することで鑑別が可能となる。